



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は善と悪について何と言っていますか?—ザ・ファウンデーション・ストロング番号付きKJV聖句

THE FOUNDATION • THE ORIGINAL STUDY, SET IN THE ANCIENT ORDER

善と悪 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

天の下にあるすべての人の前には、二つのものが立っている。一方には命と善、もう一方には死と悪である。主は御自分の民が成長したとき、その感覚を訓練して両者を見分けられるようにすることを望んでおられる。悪を行う者たちをよく見よ。聖書は彼らをはっきりと示しているからである。彼らは悪をなすことを知っているが、善をなす知識を持たない。彼らは故意に害を計画する。彼らはそれに慣れきってしまい、それは自分の皮膚のように彼らの一部となる。ついには、何か悪いことをしなければ眠ることさえできなくなる。そのような心はどこから始まったのか。園にさかのぼって見よ。そこには命の木が立ち、そこには善悪を知る木が立ち、そして一つの明白な命令があった。蛇は死は来ないと言い、彼らの目が開かれると言った。女は見て、取って、食べて、与えた。そして二人の目は確かに開かれた。しかし、その知識は彼らが担いきれない以上のものを彼らに与えた。彼らは善を知ったが、それを行う力を持たなかった。彼らは悪を知ったが、それに立ち向かう力を持たなかった。恥が来て、恐れが来て、彼らは自分たちが立つべく造られたその御前から身を隠した。数世代のうちに、人の心に形づくられるすべての計画は絶えず悪に傾き、それは主の心を痛めた。しかし裁きが過ぎ去ったとき、一人の人が祭壇を築き、主はその捧げ物の香りをかぎ、御心の中で一つの約束を語られた。ノアはどうして、悪に応えるのは犠牲であると知ったのか。その問いは終わりまで取っておくがよい。それは別の木において、別の捧げ物によって、ただ一度限りで答えられるからである。約束は確かに立つ。耳を傾ける者はだれでも安らかに生き、悪への恐れから休むであろう。それを調べ尽くせ。

本研究が答える三つの問い:

1. 今日すべての人の前に置かれている二つのものは何であり、悪は心をどうするのか。
2. 善悪の知識は、男と女の中で何をしたか。また、彼らはなぜ主の御顔から身を隠したのか。
3. 人の心のあらゆる計りごとが常に悪に傾いていたとき、何がその悪に応じ、誰が悪の恐れから安んじるのか。

ギリシャ語キーワード

“識別する” — **G1253 diakrisis** — 識別すること、判別すること
この研究全体を一言で言えば、善悪を見分ける訓練を受けた感覚(ヘブル5:14)

“感覚” — **G145 aistheterion** — 知覚する力、感覚
識別力は使うことによって成長する——感覚は訓練されなければならない

“良い” — **G2570 kalos** — 善、誠実、価値ある
成長した人が識別できる善

“悪” — **G2556 kakos** — 悪、悪い、有害な
成長した人が識別し、拒むことのできる悪

“木” — **G3586 xylon** — 木材、木、杖
木によって、人が負いきれないほどの知識がもたらされた。木の上で、彼の罪が担われた(1 Peter 2:24)

ヘブライ語キーワード

“悪” — **H7451 ra** — 悪、悪い、災い、苦難、悲惨
善に繰り返し対置される、この研究全体の言葉

“良い” — **H2896 towb** — 良い、快い、善い
主が私たちの前に、いのちとともに(申命記30:15)置かれたもの——主が良いと呼ばれるものこそ、まことに良いものである

“知る” — **H3045 yada** — 知る、認識する、見分ける
善悪を知ること — 蛇の言葉、そして人の重荷

“知識” — **H1847 daath** — 知識、識別
善悪を知る木——その木の名

“恐れて” — **H3372 yare** — 畏れる、恐れる、敬う
不従順の最初の実り、それは「私は恐れて、身を隠しました」ということであった。

“臨在” — **H6440 panim** — 顔、容貌
御顔から隠れるとは、御前から身を隠すことである

“信頼” — **H982 batach** — 信頼する、確信を持つ、安心を感じる
恐れに立ち向かう答え。すなわち、我恐る時は汝に依り頼まん(詩篇56:3)

“苦難” — **H6869 tsarah** — 苦悩、苦難、苦痛
悪が人を閉じ込める狭い場所(箴言1:27)

“苦悩” — **H6695 tsuqah** — 苦悩、苦痛
悪しき者(あだ)の魂への圧迫(プロバブ1:27)

“慣れた” — **H3928 limmud** — 教えられた、用いられた
悪を学び、それがまるでその人自身の皮膚のようになるまで(エレミヤ書13:23)

“想像” — **H3336 yetser** — 想像、心の枠組み、目的
洪水の前と後に神が人の心の中に見られたもの(創世記6:5、8:21)

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

ヘブル人への手紙 5:14 しかし、堅い食物は、善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人の
とるべきものである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G145 aistheterion ・ ■ G1253 diakrisis ・ ■ G2570 kalos ・ ■ G2556 kakos

堅い食物=成人のとるべきもの → 感覚を実際に働かせて訓練され、善悪を見わける。

(私の個人的な考え——これはこの研究全体の枠組みである。聖書において善と悪は共に名づけられている。人が悪を味わうべきだということではなく、感覚が訓練され、それを見分けて拒むべきだということである。この研究はまず悪を行う人々を見つめ、次にその知識が入り込んだ園を見つめ、そして最後にその悪が応えられた祭壇を見つめる。)

I. 命と善、死と悪 — あなたの前に置かれた二つの道

A. 申命記 30:15 見よ、わたしは、きょう、命とさいわい、および死と災をあなたの前に置いた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra

今日あなたの前に置く、命と幸い、死と災い。

(私の個人的な考え——悪、ラー(H7451、悪)は、良い、トープ(H2896、良い)の反対として、聖書を通して繰り返し名指しされている。この両者は並べて置かれ、人がそれらを見分けることを学べるようにされている。ちょうど光が闇から分けられたように。)

B. ミカ書 3:1 わたしは言った、ヤコブのかしらたちよ、イスラエルの家のつかさたちよ、聞け、公義はあなたがたの知っておるべきことではないか。(2) あなたがたは善を憎み、悪を愛し、わが民の身から皮をはぎ、その骨から肉をそぎ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra

あなたがたは公義を知るべきではないか。悪を愛し、善を憎む者たちよ。

C. 箴言 1:24 わたしは呼んだが、あなたがたは聞くことを拒み、手を伸べたが、顧みる者はなく、(25) かえって、あなたがたはわたしのすべての勧めを捨て、わたしの戒めを受けなかったので、(26) わたしもまた、あなたがたが災にあう時に、笑い、あなたがたが恐慌にあう時、あざけるであろう。(27) これは恐慌が、あらしのようにあなたがたに臨み、災が、つむじ風のように臨み、悩みと悲しみとが、あなたがたに臨む時である。(28) その時、彼らはわたしを呼ぶであろう、しかし、わたしは答えない。ひたすら、わたしを求めるであろう、しかし、わたしに会えない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6869 tsarah ・ ■ H6695 tsuqah

私が呼んだのに、あなたがたは拒んだ。→ そのとき彼らは呼ぶが、私は答えない。

(私個人の思いだが、苦難(ツァラー、H6869、distress)は、狭いという意味を持つ語根に由来する。それは、包囲された魂の狭く閉ざされた場所を表している。苦悩(ツーカー、H6695、anguish)は、その包囲の圧迫である。その狭い暗闇の中に、主はご自身の救いの光をもたらされる。もし人がそれに耳を傾けるならば。)

D. 箴言 1:29 彼らは知識を憎み、主を恐れることを選ばず、(30) わたしの勧めに従わず、すべての戒めを軽んじたゆえ、(31) 自分の行いの実を食らい、自分の計りごとに飽きる。(32) 思慮のない者の不従順はおのれを殺し、愚かな者の安楽はおのれを滅ぼす。(33) しかし、わたしに聞き従う者は安らかに住まい、災に会う恐れもなく、安全である」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1847 daath ・ ■ H8085 shama ・ ■ H7451 ra

彼らは知識を憎み、主を恐れることを選ばなかった→しかし、聞き従う者は安らかに住まい、災いを恐れることはない。

E. イザヤ書 5:20 わざわいなるかな、彼らは悪を呼んで善といい、善を呼んで悪といい、暗きを光とし、光を暗しとし、苦きを甘しとし、甘きを苦しとする。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7451 ra ・ ■ H2896 towb

わざわい=悪を呼んで善といい+善を呼んで悪といい→暗きを光とする。

II. 悪を行う者たち—四つの特徴と、義人の道

A. エレミヤ書 4:22 「わたしの民は愚かであって、わたしを知らない。彼らは愚鈍な子どもらで、悟ることがない。彼らは悪を行うのにさといけれども、善を行うことを知らない」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

悪を行うのにさとい + 善を行うことを知らない = わたしを知らない。

B. 箴言 24:8 悪を行うことを計る者を人はいたずら者となえる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2803 chashab

悪を計る者は = 邪悪な人である。

C. エレミヤ書 13:23 エチオピヤびとはその皮膚を変えることができようか。ひょうはその斑点を変えることができようか。もしそれができるならば、悪に慣れたあなたがたも、善を行うことができる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3928 limmud

悪に慣れたあなたがた=エチオピヤびとの皮膚+ひょうの斑点、変えることができない。

D. 箴言 4:14 よこしまな者の道に、はいつてはならない、悪しき者の道を歩んではならない。(15) それを避けよ、通ってはならない、それを離れて進め。(16) 彼らは悪を行わなければ眠ることができず、人を

つまりさせなければ、寝ることができず、(17) 不正のパンを食らい、暴虐の酒を飲むからである。

原語キー / STRONG' S: ■ H7451 ra

入るなかれ+これを避けよ → 彼らは悪を行わざれば眠らず、人をつまづかせざれば休まざればなり。

E. 箴言 4:18 正しい者の道は、夜明けの光のようだ、いよいよ輝きを増して真昼となる。(19) 悪しき人の道は暗やみのようだ、彼らは何につまづくかを知らない。

正しい者の道=輝く光、いよいよ完全な日にまで至る → 悪しき者の道=暗闇。

(私個人の考え——これらは悪を行う者たちの特徴である。彼らは善を行う知識を欠いている。彼らは故意に害を計画する。彼らはそれに慣れきってしまい、それが自分の皮膚のようになる。ついには悪を行わなければ眠ることさえできなくなる。そして彼らが理解できずにいることの一つはこれである——手遅れになるまで、自分自身の魂に及ぼしている害に気づかないのである。)

III. モーセ五書 — 創世記:木、墮落、そして悪しき心

A. 創世記 2:8 主なる神は東のかた、エデンに一つの園を設けて、その造った人をそこに置かれた。(9) また主なる神は、見て美しく、食べるに良いすべての木を土からはえさせ、更に園の中央に命の木と、善悪を知る木とをはえさせられた。

原語キー / STRONG' S: ■ H2896 towb ・ ■ H1847 daath ・ ■ H7451 ra

見るからに美しく、食べるに良いすべての木+命の木+善悪を知る木。

(私の個人的な思い——木々に注目してほしい。すべての木は食べるのに良いものであった。そして、いのちの木は別格であった。また、善悪の知識の木も別格であった。二本の木が中央に立っていたが、禁じられていたのはそのうちの一本だけであった。)

B. 創世記 2:15 主なる神は人を連れて行ってエデンの園に置き、これを耕させ、これを守らせられた。

主なる神は人を取り+彼を園に置かれた → それを耕させ、これを守らせるために。

C. 創世記 2:16 主なる神はその人に命じて言われた、「あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。(17) しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう」。

原語キー / STRONG' S: ■ H1847 daath ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra

園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい → しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない → それを取って食べると、あなたは必ず死ぬであろう。

(私個人の考え——主は多くを与えられた。すべての木からは、自由に食べてよい。主が禁じられたのはただ一本の木だけであった。そして、この命令は人に与えられた。なぜなら、その時にはまだ女は造られていなかったからである。)

D. 創世記 3:1 さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、へびが最も狡猾であった。へびは女に言った、「園にあるどの木からも取って食べるなど、ほんとうに神が言われたのですか」。(2) 女はへびに言った、「わたしたちは園の木の實を食べることは許されていますが、(3) ただ園の中央にある木の實については、これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました」。(4) へびは女に言った、「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう」。(5) それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」。

原語キー / STRONG' S: ■ H3045 yada

神は言われた → 蛇は言う：あなたがたは決して死ぬことはないでしょう + あなたがたは神のようになり、善悪を知る者となるでしょう。

E. 創世記 3:6 女がその木を見ると、それは食べるに良く、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われたから、その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。(7) すると、ふたりの目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻いた。

原語キー / STRONG' S: ■ H2896 towb ・ ■ H3045 yada

見た+取った+食べた+与えた → 二人の目が開け、自分たちが裸であることを知った。

(これは私個人の考えである——これ以前には恥はなかった。知識が来て、それが彼らに最初に示したのは彼ら自身の裸であった。悪に対する力を持たない善悪の知識は、恥を生み出す。)

F. 創世記 3:8 彼らは、日の涼しい風の吹くころ、園の中に主なる神の歩まれる音を聞いた。そこで、人とその妻とは主なる神の顔を避けて、園の木の間に身を隠した。

原語キー / STRONG' S: ■ H7307 ruach ・ ■ H6440 panim

彼らは主なる神の声を聞いた → そして主なる神の御顔を避けて身を隠した。

(私自身の思い——臨在とはパニム(H6440、臨在)、すなわち顔である。不従順は、彼らが本来立つべきであったまさにその顔から、彼らを隠れさせた。そして「その日の涼しい時」とは、ヘブライ語では「その日の風」である。)

G. 創世記 3:9 主なる神は人に呼びかけて言われた、「あなたはどこにいるのか」。(10) 彼は答えた、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3372 yare

私はあなたの声を聞き、私は裸であったので恐れ、そして私は身を隠しました。

(私の個人的な考え——恐れ、ヤーレー(H3372、恐れ):聖書全体における最初の恐れは、最初の不服従の後に続く。恐れは悪の知識と共に入って来た。)

H. 詩篇 56:3 わたしが恐れるときは、あなたに寄り頼みます。(4) わたしは神によって、そのみ言葉をほめたえます。わたしは神に信頼するゆえ、恐れることはありません。肉なる者はわたしに何をなし得ましょうか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3372 yare ・ ■ H982 batlach

私が恐れる時 = 私はあなたに信頼します。 → 私は肉が私に何を為し得るかを恐れませんが。

I. 詩篇 56:11 わたしは神に信頼するゆえ、恐れることはありません。人はわたしに何をなし得ましょうか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H982 batlach ・ ■ H3372 yare

神に信頼を置く = 人はわたしに何をなし得ましょうか、わたしは恐れることはありません。

(私の個人的な思い——この詩篇の二つの節を並べてみよう。まず初めに、「われ恐る時は汝に依り頼まん」。さらに先には、「われ恐れじ」。信頼が両者の間に立ち——意志が恐れの上に据えられ、心を守る。これはアダムの「我恐れれば身を隠せり」に答えるものである。すなわち、御前から身を隠すのではなく、御言葉に信頼することである。)

J. 創世記 3:22 主なる神は言われた、「見よ、人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るものとなった。彼は手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかも知れない」。(23) そこで主なる神は彼をエデンの園から追い出して、人が造られたその土を耕させられた。(24) 神は人を追い出し、エデンの園の東に、ケルビムと、回る炎のつぎとを置いて、命の木の道を守らせられた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るものとなった → 追い出され + 燃えるつぎをもって、命の木の道を守られた。

(私個人の考え——善悪の知識における何かが、人間に耐えられる以上のものを与えてしまった。彼の知識は彼の力を超えてしまった。彼は今や善を知ることはできても、それを行うことはできない。悪を知ることはできても、それに立ち向かうことはできない。そして剣がいのちの木への道を守り、彼がその壊れた状態のまま食べて永遠に生きることをないがしろにされた。)

K. 創世記 6:5 主は人の悪が地にはびこり、すべてその心に思いはかることが、いつも悪い事ばかりであるのを見られた。(6) 主は地の上に人を造ったのを悔いて、心を痛め、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3336 yetser ・ ■ H7451 ra ・ ■ H6087 atsab

心の思いの計り事はことごとく常に悪であった = ただ悪のみ絶えず → そして主はご自分の心を痛められた。

(私の個人的な思い——想像とはイエツェル(H3336、想像)であり、形作られたもの、すなわち心の中に形成された目的と欲望である。神は悪を見られたが、それは邪悪の実である。悪は心の形成された目的から来る。そして彼の心を痛めた。今でも、聖霊が悲しめられるのは、悪しき思い、欲望、目的が内に保たれているからである。)

L. 創世記 8:20 ノアは主に祭壇を築いて、すべての清い獣と、すべての清い鳥とのうちから取って、燔祭を祭壇の上にささげた。(21) 主はその香ばしいかおりをかいで、心に言われた、「わたしはもはや二度と人のゆえに地をのろわない。人が心に思い図ることは、幼い時から悪いからである。わたしは、このたびしたように、もう二度と、すべての生きたものを滅ぼさない。(22) 地のある限り、種まきの時も、刈入れの時も、暑さ寒さも、夏冬も、昼も夜もやむことはないであろう」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5930 olah ・ ■ H5207 nichoach ・ ■ H7381 reyach ・ ■ H3336 yetser ・ ■ H7451 ra

ノアは燔祭を祭壇の上にささげた → 主はその香ばしいかおりをかがれた → わたしは再び地をのろうことはしない。

(私自身の考え——探るべき問いがある。ノアはどうして犠牲を献げることを知っていたのか。声を聞いたのだろうか。その犠牲は悪と関わりがあったのだろうか。人の心は依然としてその幼き時より悪であった。しかし全焼のいけにえが献げられたとき、主は彼の心に平安を語られた。まるで犠牲だけが悪に応えるかのように、火がその供え物を焼き尽くしたのである。この問いを心に留めておきなさい。聖書はもう一つの木において、それに答えているのだから。)

閉会

箴言 1:33 しかし、わたしに聞き従う者は安らかに住まい、災に会う恐れもなく、安全である」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8085 shama ・ ■ H7451 ra

人に聞き従う者=安らかに住む+悪の恐れなく安心する。

ペテロの第一の手紙 2:24 さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G399 anaphero ・ ■ G3586 xylon

十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた → 罪に死に、義に生きるために + その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

(私見であるが、ノアの祭壇の問いはここに答えが示されている。一本の木によって悪の知識がもたらされた。一本の木の上で、その悪は取り除かれた。ノアが手を伸ばして求めた供え物を、神ご自身が備えられた。すなわち神ご自身、その御体、ただ一つの捧げ物として。聞く者は悪への恐れから休みを得るであろう。悪はすでに答えられたからである。)

練習クイズ

1. 申命記30:15 — 見よ、わたしは、きょう、命とさいわい、および死と災をあなたの前に置いた。
 - a) 祝福と呪いのみ
 - 命とさいわい、および死と災
 - c) 律法と戒め
2. 創世記2章16-17節 — あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。しかし：
 - a) いのちの木
 - b) 見た目に良いすべての木
 - 善悪を知る木
3. 箴言1:33 — だれが安らかに住まい、災に会う恐れもなく、安全であるか。
 - a) わたしに聞き従う者は
 - b) 私を早く求める者たち
 - c) 繁栄している単純な者
4. エレミヤ書13:23 — 悪に慣れたあなたがたも、善を行うことができる。それは：
 - a) 彼らは善を行うように教えられている
 - エチオピアびとはその皮膚を変えることができようか。ひょうはその斑点を変えることができようか。
 - c) 彼女らのすそはあらわにされる
5. 創世記3:8 — アダムと妻は誰の顔を避けて身を隠したか：
 - a) 主なる神の顔、園の木の間に
 - b) 園の東に置かれた炎の剣
 - c) 蛇の声
6. 創世記3:22-24 — 人はなぜ園から追い出されたのか。
 - a) 再び善悪を知る木から食べることをないように
 - b) 蛇がまだ園にいたから
 - c) 彼が手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかも知れない
7. 創世記8:21 — 主はその香ばしいかおりをかいで、心に言われた、人が心に思い図ることは：
 - a) 常に悪だけ
 - b) 幼い時から悪い
 - c) 善を行うようになった

解答:1-b、2-c、3-a、4-b、5-a、6-c、7-b

このスタディの分岐

影がどのように光をもたらすか:命の木は園の中央にあった(創世記2:9)→勝を得る者には、命の木の実を食べさせよう(ヨハネの黙示録2:7)。剣によって守られていた木は、キリストにおいて再び開かれる。

言葉が大切であることについて:ノアの捧げ物の芳しい香り(創世記8章21節)→キリストは私たちのために、ご自身を香ばしい香りのささげ物、また供え物として神にお捧げになった(エペソ人への手紙5章2節)。ノアが捧げた香りを、御子が成就された。

これがあなたにどう当てはまるか:彼らは主の御前、その御顔を避けて身を隠したが(創世記3:8)、心の清い者は神を見る(マタイによる福音書5:8)、また主のしもべたちはその御顔を見る(ヨハネの黙示録22:4)。恐れは御顔を隠した。信頼はそれを取り戻す(詩篇56:11)。

これが心に触れる様相:人の心の思いの計るところはただ悪であった(創世記6:5)→神の言は心の思いと志望とを見分けるものである(ヘブル人への手紙4:12)。かつて主を悲しませたその思いを、今、御言葉が探る。

永遠にとってこれが意味すること——人の力を超えた知識には、善悪を見分けるために鍛えられた感覚が応える(ヘブル人への手紙5:14)。そして耳を傾ける者は悪への恐れから離れて安らかに住む(箴言1:33)。園において入り込んだ恐れは、聞き従う心において静められる。

救われるためには何をしなければならないか

「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).